

作成日 : 2022 年 3 月 14 日  
改訂日 : 2023 年 12 月 18 日

## 安全データシート

### 【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称 : KZR-CAD ピーク  
会社名 : YAMAKIN株式会社  
住所 : 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町3番7号  
電話番号 : 06-6761-4739  
FAX番号 : 06-6761-4743

### 【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類 : 分類対象外または分類できない。

#### ラベル要素

- ・表示 : なし
- ・注意喚起語 : なし
- ・危険有害性情報 : なし

#### 注意書き

- ・安全対策 : 本製品の取り扱いの前に、SDSを必ず読み、取り扱い上の注意を確認すること。  
皮膚に触れないように注意し、保護眼鏡(ゴーグル型)、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な保護具を着用すること。
- ・応急措置 : 気分が悪くなった際は、医師の診断・手当を受けること。
- ・保管 : 直射日光を避け、火気や熱源より遠ざけて保管すること。
- ・廃棄 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 【3. 組成及び成分情報】

単一製品・混合の区別 : 混合物  
成分及び含有量 :

化学物質名	化学式	含有率 wt%	CAS No.
ポリエーテルエーテルケトン	(C <sub>19</sub> H <sub>12</sub> O <sub>3</sub> ) <sub>n</sub>	≈80	31694-16-3
無機酸化物	非公開	17-20	非公開
その他	非公開	<1	非公開

#### 【4. 応急措置】

- 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗眼した後、医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 熔融物の場合はただちに水で冷やし、火傷があれば医師の診断を受けること。皮膚上の固まった樹脂を無理に剥がさないこと。
- 吸入した場合 : 熔融物からでるガスを吸って気分が悪くなった場合は、直ちに新鮮な空気ある場所に移し回復を待つこと。回復しないときは医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口の中をよく洗浄した後、医師の診察を受けること。

#### 【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 周辺火災に応じて水、粉末消火剤、炭酸ガスを使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。
- 特有の危険有害性 : 不完全燃焼すると、炭酸ガスと水の他に有毒なガス（CO 及びフェノール等の芳香族有機ガス）が発生する恐れがある。
- 特有の消火方法 : 消火活動は風上から行う。  
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な防毒マスク、保護具、耐火服を着用する。

#### 【6. 漏出時の措置】

本製品は、一般的な環境下では固体の状態であるため、漏出することはない。  
ただし、切削、研磨などの加工により、ヒュームや粉じんが発生する場合、下記に記載する措置を実施すること。

- ・ 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。  
作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、服、皮膚への接触や吸入を避ける。
- ・ 環境に対する注意事項 : 周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。
- ・ 封じ込め及び浄化の方法／機材 : できるだけ飛散しないようにして、空容器等に回収する。  
取扱い場所の近傍での飲食の禁止。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。
- ・ 二次災害の防止策 : 回収したものは、廃棄・処分するまで、容器に保管する。  
周りの着火源となるものを取り除く。

#### 【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い : 切削屑の吸入や皮膚への接触が予想される場合には、保護具、局所排気装置を使用すること。
- ・ 技術的対策 : 常温では引火爆発の恐れはないが、使用時など、近くで火気をみだりに使用しないこと。  
床上にこぼれたペレット等は、放置すると足元が滑って転倒を招く恐れがあるため、速やかに清掃除去すること。

- 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- ・局所排気／全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
  - ・接触回避 : データなし
  - ・安全取扱注意事項 : 使用前に添付文書入手すること。  
すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙しないこと。
- 保管
- ・技術的対策 : データなし
  - ・保管条件 : 火気、熱源、着火源から離れた場所に保管すること。  
直射日光を避けて保管する。
  - ・容器包装材料 : データなし

## 【8. ばく露防止及び保護措置】

一般の環境下では固体であり、ばく露防止や保護措置に関する有用な情報はない。  
ただし、切削、研磨などの加工により、ヒュームや粉じんが発生する場合、換気対策を実施するなどして適切な作業環境を確保すると同時に、適切な保護手袋、保護眼鏡、保護マスクなどの保護具を着用すること。

- 管理濃度 : 設定されていない。  
許容濃度 :

成分	化学式	日本産業衛生学会 (2022年版) 許容濃度 mg/m <sup>3</sup>	ACGIH (2021年版) 許容濃度 TLV-TWA mg/m <sup>3</sup>
ポリエーテルエーテルケトン	(C <sub>19</sub> H <sub>12</sub> O <sub>3</sub> ) <sub>n</sub>	2 (R) 8 (T)	-
無機酸化物	非公開	2 (R) 8 (T)	3
その他	非公開	-	-

R：吸入性粉じん、T：総粉じん

- 設備対策 : 粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

### 保護具

- ・呼吸器の保護具 : 粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
  - ・手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
  - ・眼の保護具 : 適切な保護眼鏡、顔面保護具を着用すること。
  - ・皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。
- 衛生対策 : 取扱い後は、よく手を洗うこと。

## 【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状态、形状、色など

・物理状態	:	固体
・色	:	歯牙色
・臭い	:	無臭
・融点/凝固点	:	340~350°C (DSC 法)
・沸点又は初留点及び沸 点範囲	:	データなし
・可燃性	:	発火性
・爆発下限界及び上限界	:	データなし
・引火点	:	データなし
・自然発火点	:	575°C以上
・分解温度	:	>450°C
・pH	:	データなし
・動粘性率	:	データなし
・溶解度	:	データなし
・n-オクタノール/水分配 係数	:	データなし
・蒸気圧	:	データなし
・密度及び/又は相対密度	:	1.3~1.5 g/cm <sup>3</sup>
・相対ガス密度	:	データなし
・粒子特性	:	データなし

## 【10. 安定性及び反応性】

安定性・反応性	:	通常の扱いにおいては常温で安定
危険有害反応の可能性	:	データなし
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	データなし
危険有害な分解生成物	:	不完全燃焼すると、炭酸ガスと水の他に有毒なガス (CO 及びフェノール等の芳香族有機ガス) が発生する恐れがある。

## 【11. 有害性情報】

急性毒性	:	データなし
皮膚腐食性/刺激性	:	データなし
眼に対する重篤な 損傷性/刺激性	:	データなし
呼吸器感作性または 皮膚感作性	:	データなし
生殖細胞変異原生	:	データなし
発がん性	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器毒性	:	

単回ばく露	:	データなし
反復ばく露	:	データなし
誤えん有害性	:	データなし

## 【12. 環境影響情報】

生態毒性	:	データなし
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壤中の移動性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	データなし

## 【13. 廃棄上の注意】

環境上望ましい廃棄又はリサイクルに関する情報

- ・ 残余廃棄物
  - : 「廃棄物の処理および清掃に関する法律」(廃掃法)の産業廃棄物、廃プラスチック類に該当する。廃棄物は所属する地方自治体の条例などに従って処分すること。
  - 焼却処理する時は、管理された焼却設備を用いて、廃掃法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法に沿って処理すること。
  - 焼却時には有毒なガスが発生する可能性があるため、換気に注意すること。棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- ・ 汚染容器及び包装
  - : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 【14. 輸送上の注意】

国際規制	
・ 海上規制	: 非該当
・ 航空輸送	: 非該当
・ 国連分類	: 非該当
国内規制	
・ 陸上輸送	: 非該当
・ 海上輸送	: 非該当
・ 航空輸送	: 非該当
安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

## 【15. 適用法令】

労働安全衛生法	:	非該当
化学物質管理促進法		
(PRTR 法)	:	非該当
特定化学物質の環境への 排出量の把握等及び管理	:	非該当

の改善の促進に関する法律

毒物及び劇物取締法	:	非該当
大気汚染防止法	:	非危険物
船舶安全法	:	非危険物
航空法	:	非危険物
港則法	:	非危険物
じん肺法	:	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

---

## 【16. その他の情報】

本製品は歯科用材料です。用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであり特別の取り扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施してください。

また、記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

### 【参考文献】

- ・(独)製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- ・職場の安全サイト ホームページ
- ・日本産業衛生学会 許容濃度の勧告 (2022年度)
- ・ACGIH-TLVs and BEIs (2021)

### 【改訂履歴】

00	2023年	3月	14日	初版
01	2023年	12月	18日	2版